

包括的性教育・性の多様性へのバッシングに関する 緊急オンラインアンケート調査結果

調査概要

若者世代（30歳以下の方）を対象に包括的性教育や性の多様性へのバッシングについての意識や現状を明らかにすることを目的にオンラインでのアンケート調査を行った。

アンケート調査の呼びかけは、ピルコン等の SNS アカウントでも発信し、調査協力者として性教育に関心が高い人や興味のある人を中心に回答いただいたと考えられる。

回答期間：2023.9.13~2023.9.21

回答者数：58名（女性42名、ノンバイナリー・X・無性5名、男性6名、無回答5名）

※なお、本調査結果には、性的マイノリティに対する偏見やヘイトに関する内容が含まれるため、自身の体調に配慮した上での閲覧を推奨する。

※性の多様性に関する情報や、相談機関については、ピルコン「LGBTQ+・多様な性のあり方」<https://pilcon.org/help-line/lgbt>も参照。

結果サマリー

回答者のうちの64%が、包括的性教育へのバッシングや不安のある内容を見聞きしたことがあると回答し、また、86%が性の多様性についての誤解・偏見を煽る内容を見聞きしたことがあると回答した。見聞きした場所は、それぞれX（旧Twitter）が最も多く、他にも友人や知人との会話などの回答も多くあった。包括的性教育や性の多様性について発信することに不安を感じるという回答も半数以上あり、包括的性教育や性の多様性に関する知識や具体的な伝え方について知りたいという意見があった。

そのため、若者にとって包括的性教育や性の多様性へのバッシング、誤解・偏見を招く内容はオンライン・オフラインのコミュニケーションにおいて身近に見られるものになっており、信頼できる情報発信や具体的な伝え方について共有していく必要性が示唆された。

新著『[Q&A 多様な性・トランスジェンダー・包括的性教育バッシングに立ち向かう 74問](#)』（大月書店）にピルコン理事長染矢明日香も編著に携わりました。本調査内容を一部掲載しています。各分野の専門家と共に、子ども・若者の現状から人権に基づく包括的性教育の必要性や、様々な言説を一問一答方式で人権と事実に基づきまとめています。

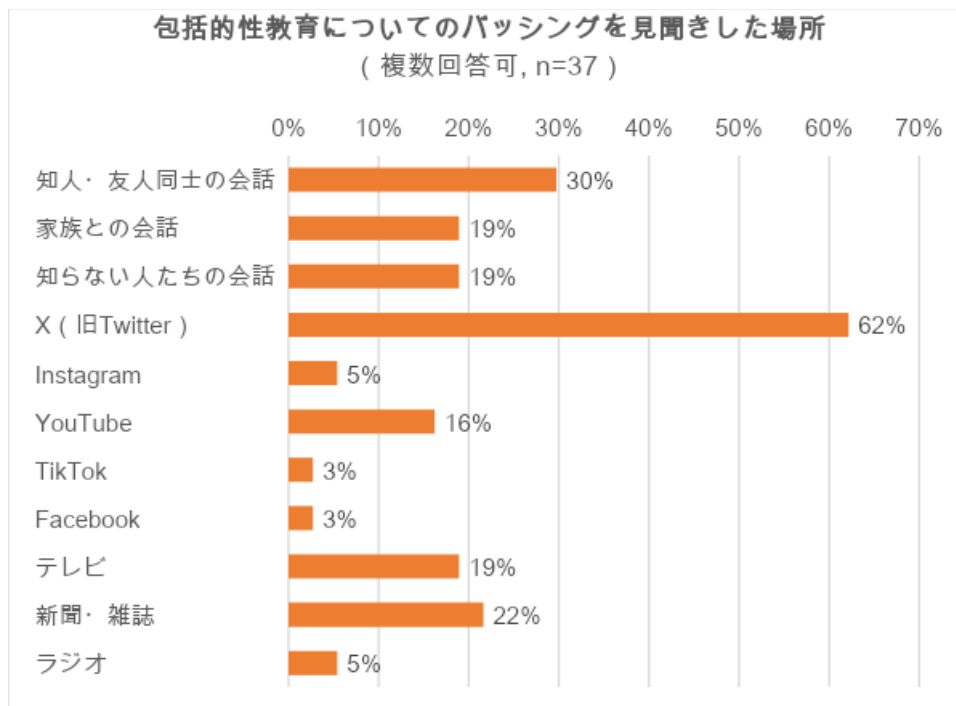
質問項目及び結果概要

▼包括的性教育について

Q1「包括的性教育に対するバッシングや、不安をあおる内容を見聞きしたことはありますか？」

	人数	割合
ある	37人	64%
ない	21人	36%

Q2. (Q1.で「ある」と答えた方) それは主にどんな場所ですか？ (複数回答可)



【回答結果】

- ・「X(旧 Twitter)」が最も高く、次いで「知人・友人同士の会話」「新聞・雑誌」の順に回答率が高かった。
- ・「Instagram」「Facebook」「TikTok」といったその他の SNS や「ラジオ」は、比較的回答率が低かった。

Q3. (Q1.で「ある」と答えた方) 包括的性教育に対するバッシングや、不安をあおる内容はどんな内容でしたか？

包括的性教育は時期尚早で過激、不適切とする内容を見聞きしたという声が多くあった。

【主な回答】

- ・性教育は性行為を推奨するもので、子どもには不適切。
- ・まだ早い、寝た子を起こすなといった内容。
- ・本来の性教育とはだいぶズレた内容で、「幼児～小学生に性行為を教えるのか」といった感じだった。
- ・包括的性教育がトレンドにあったので見に行ったら、過激な性教育みたいな投稿を多く見た。
- ・「(性の多様性に関して) 教えると影響を受けてしまう子が増えるのではないか」。
- ・ジェンダー教育が進むと日本の家族制度やしきたりが壊れる。

Q4.ご自身が包括的性教育に関する発信に対して、しづらいと思ったり、発言を控えたことはありますか？

	人数	割合
ある	40人	69%
ない	18人	31%

Q5.包括的性教育について、不安や疑問に思うことはありますか？

周囲からの視線や、性についての話しづらさ、自分の知識・理解が不十分なため周囲の理解が得られるかの不安があるといった声が多くあった。また、現在の学校の性教育の不十分さやなぜ学校で包括的性教育が義務教育で行われていないのか、疑問視する意見も複数あった。

【主な回答】

- ・発信をする場を選んでしまう。性にオープンな人＝下ネタ ok と思われたら面倒くさいなあとの思いから。
- ・そもそも「性」について話すことがオープンではない国なので、話しにくいことがある。

問題について友人と話すことが難しい。

- ・自分の内面の差別に気づいて、モヤモヤする。
- ・自分の言葉で包括的性教育をうまく説明できず、実践する上で理解が得られないのが不安。
- ・昨今の教育現場で、LGBTQやリプロダクティブ・ヘルスライツに関する知識を十分に生徒に伝えられていない。
- ・学校教育において、なぜ包括的性教育が義務教育として行われないのか。

Q6.包括的性教育について、どんな情報を知りたいと思いますか？

具体的な指導方法や、他の地域や学校での取り組み事例、性に関する基礎的な知識について知りたいという声が多くあった。また、性教育に対するバッシングへの対処について知りたいという意見もあった。

【主な回答】

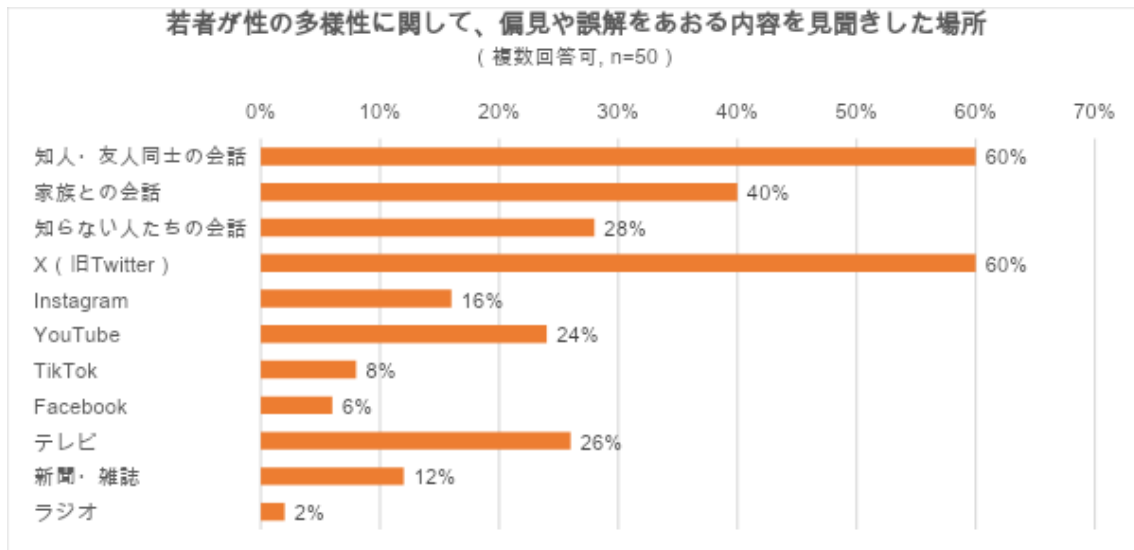
- ・具体的にどんな風に行えば有効的なのか。保護者など大人たちの同意を得る為にどんな事が出来るか
- ・取扱範囲が広いので全体像や取り組みを行っている国、教育機関の事例を知りたい。関連書籍も。
- ・ネットで調べても出てこない正しい性の情報や具体的な避妊方法、生理やおりものとの付き合い方、性的嗜好など。
- ・バッシングに対抗するためのファクト。いちいち探すのも本当に手間だし、アフターピルのWHOのファクトシートのようにまとまっているものがあつたらいい。

▼性の多様性について

Q7.性の多様性に関して、偏見や誤解をおおる内容を見聞きしたことはありますか？

	人数	割合
ある	50人	86%
ない	8人	14%

Q8. (Q7.で「ある」と答えた方) それは主にどんな場所ですか? (複数回答可)



【回答結果】

- ・「知人・友人同士の会話」「X(旧 Twitter)」が同率で最も高く、次いで「家族との会話」が多く回答された。
- ・Q2 で回答率の低かった「TikTok」「Facebook」「ラジオ」はここでも回答率が低かった一方、「Instagram」は回答率が大きく上がった。
- ・Q2 で回答率の高かった「新聞・雑誌」は、Q2 に比べ回答率が低い結果となった。

Q9. (Q7.で「ある」と答えた方) それはどんな内容でしたか?

SNS 上でのデマを引用したセクシュアルマイノリティへの批判を目にしたという意見が多く、特にトランスジェンダーに対する悪質なデマを見聞きしたという声が多くあがった。また、周囲からの理解のない発言や、政治家による不適切な発言についての声もあった。

【主な回答】

- ・ SNS のデマを出して LGBTQ を批判する
- ・ いわゆるインフルエンサーと呼ばれる人が、性的マイノリティの人は自分たちの権利ばかり主張して多くの人に我慢を強いていると発言していた。
- ・ SNS では LGBTQ と陰謀論を絡めた情報や差別的な発言を目にすることが多い。
- ・ Twitter で、友人がトランスジェンダーに関する悪質なデマ（公共入浴施設に、心が女性だと言えば体が男性でも入場できるなど）を多くいいねしていた。
- ・ 政治家の不適切発言

・親にやっとの思いでカミングアウトをしたら、「（私のセクシュアリティが）わからない」「あなたの周りにはそういう人たちがいるの?」と言われ、「言っていないだけでいっぱいいるよ」と言ったら「あなたも影響を受けちゃったんじゃないの?」と言われた。

Q10.ご自身が性の多様性に関する発信に対して、しづらいと思ったり、発言を控えたことはありますか?

	人数	割合
ある	35 人	60%
ない	23 人	40%

Q11.性の多様性に関して、不安や疑問に思うことはありますか?

SNS 上での差別・バッシングに関する不安や、セクシュアルマイノリティ当事者に対する自身の言動に関する不安の声が多くあった。

【主な回答】

- ・ SNS 上での差別やバッシングが激しいこと。
- ・ Twitter で発信したいけど、否定的なコメントが多くついたり、炎上したりしてしまうかもしれないのが恐怖で発信できていないです。
- ・ トランスジェンダーに関する誤解、デマ、ヘイトが流布していて、そういったヘイトを表立って口にしているという風潮が社会に形成されつつある点が不安。
- ・ カミングアウトされた時、どう言えばいいのか相手を無闇に傷つけてしまわないか不安。
- ・ 身近に多様な性を持つ人がいた際の関わり方

Q12. 性の多様性に関して、特に知りたいと思うことはありますか?

性の多様性についての具体的な伝え方や指導方法について知りたいという声が多くあった。また、セクシュアルマイノリティに対するバッシングやデマに対する対処方法や、当事者同士で繋がりを持てるコミュニティについて知りたいという声も複数あった。

【主な回答】

- ・具体的にどんな風に行えば有効的なのか。
- ・LGBT を伝えることではない、性の多様性の伝え方 まだうまく伝えられない
- ・指導に使える資料。当事者との繋がりの方。
- ・年齢の高い人にも伝わる伝え方が知りたいです。
- ・バッシングの中で気をつけることややっていくべきことがあるか知りたい。
- ・性の多様性のコミュニティについての情報

以上